

天然染料の一浴多色染色による紬織物の開発

【相手先企業】

染織デザイン研究会員企業

【目的】

天然染料染色で増加する作業工程の効率化と染料の浸透性等の問題から作製困難である緻密な緋作製技術を確立することで、「天然染料による緋製品」という従来には見られない、付加価値のある結城紬の新製品開発を目的とした。

【内容】

- 1) 緋染色への検討 …… 染料助剤の検討
括り糸防染向上のための加工試験
- 2) 作業工程の効率化 …… 異媒染糸の同浴中での染め分け技法の検討
- 3) 染色堅ろう度試験 …… 耐光，熱湯，水，摩擦試験の実施

【成果】

括り糸を2種類の感熱性高分子で加工することにより、従来困難とされていた天然染料による緻密な緋織物の作製が実現した。また異なる先媒染を施した糸束を同浴中で染色することで、作業工程を省力化を図ることができた。

なお、この染色技法を用いて、研究会員協力のもと作製した試作品が第40回全国繊維技術交流プラザ（産業技術連携推進会議 繊維部会主催）で優秀賞を受賞。

現在、研究会活動等を通じて業界に技術移転し、製品化され販売中である。



試作緋部分



100亀甲細工本場結城紬試作品

基礎となった事業： 試験研究指導事業

トータルデザインによる紬織物の研究（平成12年度～平成14年度）

染織デザイン研究会（平成12年度～平成14年度）

担当部署： 繊維工業指導所 紬技術部 小林敏弘 中野睦子